



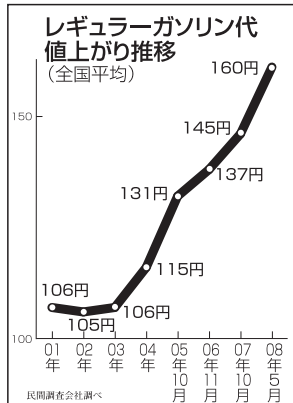
くらしと職場に将来展望を 「すべての仲間に一時金を」

物価高騰

家計は大ピンチ

原油・穀物高騰を主な原因とする20年ぶりの値上げラッシュがとまりません。

「値下げにホッと息」のガソリンは、国民の反対を押し切つて暫定税率復活。引き続き原油高も加わり、値



下げ前の1リットル150円から現在は160円前後。さらに値上がる心配です。

みそ、しょうゆ、食用油から小麦粉・麺類、パン、チーズ・マーガリンから牛乳、ビール。おまけに電気・ガス・飛行機運賃、トイレットペーパーも。原材料の値上がり、食品関連だけでなくもろもろの物価値上げをもたらしています。

春闘での賃上げは多くのところで昨年をこえたものの、物価高騰分に足りません。従来水準の一時金では、生活悪化となります。

昨秋から6月にかけての主な値上げ幅

	みそ	10~15%
	しょうゆ	11%
	小麦粉	10~15%
	チーズ	20~30%
	牛乳	5%
	ビール	3~5%
	家庭用紙	30% (王子製紙)

(注) 各種新聞報道より作成

経営者には

労働者の生活を守る責任がある

私たちは一時金からの補てんで日々の生活費をやりくりしています。さらに住宅や教育・自動車ローンにも当てられています。

ロソン会社は「一時金が少ない場合は減額 猶予しましょう」なんて言うてくれません。「業績」や「先行不透明」などを理由にした犠牲押し付けは許されません。

「一時金は生活費であり「賃金」です。経営者には労働者のくらしをまもる責任があります。

私たちは、パートや臨時、雇用延長者、派遣・請負の仲間を含め、すべての仲間たいし、生活改善と将来展望につながる一時金の支給を要求します。

要求実現へ、ともにたたかおう

全日本金属情報機器労働組合 (JMIU)

東京都北区滝野川3-3-1 TEL.03-5961-5601

http://www.jmiu.com

現代版「姥捨て山」は廃止、派遣法は抜本改正を

現代版

後期高齢者医療制度

福田内閣は退陣し

解散総選挙で信を問え

「老人は早く死ぬというのか」「これは虐待だ。いったいだれがつくったのか」。現代版「姥捨て山」と、お年寄りだけでなく全国民から怒りがわきおこっている後期高齢者医療制度。

政府は制度の骨格はそのままに、一部手直しする方向ですが、野党は「致して廃止法案を提出しました。戦後日本の復興のために苦勞し必死に生きてきたお年よりをいじめめる制度は廃止するしかありません。」

<これが「姥捨て山」制度>

- ① 家族が加入する健康保険・国民健康保険から75歳以上を「後期高齢者医療制度」にくくって隔離し、差別。家族の「思いやり」をスタスタに。ちなみに65歳～74歳は「前期高齢者」。
- ② 3～5万円の支給で細々と生活している人の国民年金から、「取りはぐれないように」と強制的に保険料天引き。昔の「姥捨て山」はカネまでは取らなかった。
- ③ 後期高齢者医療制度全体の医療費が増加すれば保険料も自動引き上げで、「痛みを感じてもらう」。最大のターゲットは人口がもっとも多い団塊世代。15年後の保険料は1.5倍と試算。
- ④ 外来患者はいくつもの病気をもっている担当医が1人に決められ、診療を月1回に制限。
- ⑤ 「治療を続けますか?」と、医師が患者・家族に延命治療の有無を打診すれば、報酬を新設。「治療打ち切り」続出の危険。



だれでも時給1000円以上に

派遣労働者を正社員に

「がんばって働いても、まともに生

活できない」――。派遣・請負、契約社員、パートなど、増え続ける非正規労働者。「賃金ピンハネ低賃金」「ポイ捨て」による「ワーキングプア」のひろがり、青年だけでなく日本社会の将来にとっても重大問題です。

いま、労働者派遣法の見直しへ、野

党の共同がすすんでいます。私たち

は、派遣労働者保護法への抜本改正、

だれでもどこでも時給1000円以上への最低賃金引き上げを要求した

たかっています。

① 偽装請負解消と直接雇用・正社員化の義務化。

② 派遣も常用雇用へ。日雇い派遣の禁止、登録派遣の規制。

③ 製造現場の除外など、派遣対象業務の制限。